

投与プロトコール 1コース 21日間 制限なし 《開始時基準 PS:0~2 75歳以下》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生理食塩液	500mL	Day 1,8	90分	
プレメディ	生理食塩液 デキサート注 6.6mg/2mL	100mL 1V	Day 1,8	30分 点滴	
①	ロゼウス 25mg/m <sup>2</sup> 生理食塩液	mg 50mL	Day 1,8	全開 点滴	10分以内に投与終了
フラッシュ	生理食塩液	50mL	Day 1,8	全開 点滴	

◇初回は1泊入院、それ以降は外来ケモにて運用。

<使用上の注意点>

【ロゼウス】

- ◆投与は開始から10分以内に終了する。
- ◆静脈炎・血管痛を起こしやすいため、注射部位・注射方法に十分注意する。
- ◆静脈炎予防の目的で、投与直後から200mL以上の生食によるフラッシュが推奨されているため、生食50mLでのフラッシュに加えルートキープ用生食も全量投与する。
- ◆起壊死性抗がん剤のため、血管外漏出により壊死を起こすことがあるため投与時は十分な観察を行う。
- ◆投与前の白血球数が2000/mm<sup>3</sup>未満であった場合には投与を延期し、2000/mm<sup>3</sup>以上に回復するのを待って投与する。
- ◆間質性肺炎・肺線維症等の重篤な副作用を起こすことがあるため注意する。
- ◆末梢神経障害(知覚異常、腱反射減弱等)が強く現れるおそれがあるため、神経・筋疾患の既往がある患者には慎重に投与する。
- ◆イレウス等の重篤な副作用が起こることがあるため、便秘傾向の強い患者には慎重に投与する。

<減量基準>

- ◆ 肝障害時の減量の目安

T-Bil	VNB投与量
≤2.0mg/dL	通常用量
2.1~3.0mg/dL	50%減量
>3.0mg/dL	75%減量